

岡田重美・山岡光広・小西喜代次議員が一般質問

発言順

岡田重美議員



◆選択制夫婦別姓制度、◆コロナ禍のもと生活困窮者への支援、◆いまこそ介護人材確保策の支援強化を、◆緊急通報システム事業の改善

**問** 夫婦同姓が義務付けられている国は日本だけ、生き方も多様化している。ジェンダー平等社会実現のためにも、選択制夫婦別姓制度が求められている。制度改正について国へ働きかけるべき。

**市長** 婚姻制度や家族のあり方に関する重要な問題、国の議論を見守りたい。

**問** コロナ禍、熱中症対策としても低所得世帯等へのエアコン購入費用の助成を。

**健康福祉部長** まずは生活保護世帯へのエアコン支給対象の拡大、要件見直しについて厚労省へ働きかけていきたい。

**問** 経済的理由などにより生理用品を買えない「生理の貧困」が問題になっている。子どもたちが健康で衛生的な生活を送れるよう、小中学校のトイレに無償の生理用品を常備すべき。

**教育部長** 速やかに学校現場と検討したい。

**問** コロナ禍のもと介護人材確保は急務。高島市で家賃補助等がされているように、市独自の人材確保対策を強化すべき。

**健康福祉部長** 現場の声をしっかりと聞きながら検討していきたい。

**問** 緊急通報システムの申請時、3名協力が必要とされているが柔軟な対応を。

**健康福祉部長** 3名が困難な場合は2名とするなど柔軟に対応する。

山岡光広議員



◆原発避難マッチング計画、◆新型コロナワクチンの安定的供給と接種体制の拡充、◆75歳以上高齢者の「人間ドック」への助成、◆ランドセルとランリュック、◆小児医療の充実へ医師の確保策を

**問** 福井の原発群で一旦苛酷事故が起これば、長浜市民が甲賀市に広域避難する計画になっているが「マッチング」は具体化されているか。

**危機・安全統括監** 木ノ本と高月の一部が対象で、一時滞在場所として3施設で受入、準備が整いつつある。市内78カ所の避難所を随時開設。移動は避難用バス等で。

**問** 国保加入者には上限二万円の人間ドック補助があるが、75歳以上高齢者は除外されている。人生100年の時代、早期発見・早期治療のためには、人間ドックへの助成を復活すべき。

**市長** 若年層に比べ、医療にかかる機会も多く、より疾病を早期発見できる環境にあるので助成は考えていない。

**問** 75歳誕生日、77歳の喜寿、88歳の米寿など節目での検診も含めて検討を。

**問** コロナワクチン接種の迅速・的確な対応を促進するためには、ワクチンの安定的供給と接種体制の拡充が必要。移動手段が困難な人も含めて希望する市民がきちんとして接種できるように体制の拡充を。

**健康福祉部長** 7月末までに65歳以上高齢者の接種を完了見込み、さらに集団と個別接種の充実をはかり、自力で外出できない人には、在宅や施設での接種などの利用支援を考えている。

小西喜代次議員



◆コロナ感染拡大防止のための検査拡充、◆幼保・小中学校再編計画、◆市営住宅の入居条件から税の滞納除外を、◆信楽高原鉄道への高齢者無料乗車券制度の適用、◆勅旨西恩寺橋の早期拡幅

**問** クラスター防止のため、感染リスクの高い医療・福祉・教育など市立の施設での定期的なPCR検査の実施、同様の民間施設にも検査の財政的援助が必要では。

**健康福祉部長** 県において、一元的・総合的な対策が推進されるべきとの考えに変わりは無い。

**問** 学校再編計画で、再編検討協議会の結果を尊重するとしてきた。存続を決めた地域には報告書にもとづく対応が必要ではないか。

**教育長** 新たに設置する審議会の提言を踏まえ、教育委員会として今後の方向性をまとめていく。

**問** 現在市営住宅には税の滞納者は入居できないが、国交省住宅局長通知で、滞納者の入居を認めることとしている。この通知にそった見直しが必要ではないか。

**建設部長** 福祉部門と協議しながら調査、研究していく。

**問** 試算では年350万円とされているが、信楽高原鉄道に障がい者・高齢者の無料乗車制度の適用を求める。

**建設部長** 財政的負担が検討課題。

**問** 勅旨西恩寺橋拡幅の早期実現を。

**建設部長** 国道307号と面しており、事故の危険性も含め公安委員会と研究していく。

山岡議員「15年表彰」



表彰を受ける（左から）土山定信、山岡光広、鶴飼勲の各議員

山岡光広議員が全国市議会連合会から市議15年の表彰を受けました。



国民平和進行は6月19日、今年もコロナ感染拡大を考慮して行進は中止し、甲賀市役所ロビーで「平和のバトン引継ぎ式」を行いました。市長と議長からペナントが託され、8月の広島・長崎の世界大会に引き継がれます。党議員団も揃って参加。